

令和5年度 第3回愛媛県地域公共交通網再編協議会 議事録

日 時 令和5年12月19日(火) 14:30~16:30

場 所 松山市男女共同参画推進センターCOMS 大会議室

1 開会

事務局 : ただ今から、令和5年度第3回愛媛県地域公共交通網再編協議会を開会する。

※配布資料の確認

開会に当たり、会長の三好 愛媛県政策企画局長よりご挨拶を申し上げます。

三好会長 : 本協議会の会長を務めさせていただいている、愛媛県政策企画局長の三好です。

本日は年末の大変お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。また、四国運輸局の木村課長にはご多忙の中ご出席いただきありがとうございます。

7月27日の前回協議会では、来年9月に終期を迎える愛媛県地域公共交通網形成計画について、次期計画を策定するための方針や、今後の進め方、調査の方向性などについてご説明し、ご議論いただいた。その後、8月には実務担当者レベルでのWGを実施し、調査内容や方法に関する意見交換を行い、8月から10月の間に調査を実施した。

調査の結果については、11月に地域別に開催したWGで共有したが、本日は調査を踏まえて明確となった地域ごとの実情、県民意識、具体的な課題について、改めて委員の皆様にご説明するとともに、次期計画における取組の方向性についてもご意見をいただきたい。

昨今の報道では、全国的に交通関係の記事が目につく状況である。都会でもバスの運転手人材不足による減便・廃止、ここ数日ではライドシェアに関する議論など、都会・過疎地域で問題は異なるが、人材不足という共通の課題にどのように対応すべきか、住民目線に立ったシームレスな公共交通はどうあるべきか、などという報道が多い。本協議会でも与えられた使命の重さを日に日に感じる場所である。夏の前回協議会以降でこれだけ変化の激しい中で、公共交通を考えるという非常に難しい命題ではあるが、次期計画については、できるだけ最新の要素を入れ込んだものを考えたい。

委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

事務局 : ここからの進行は、協議会設置要綱第6条の規定に基づき、議長である三好会長にお願いする。

2 調査結果の報告について

三好会長 : 本協議会は公開で行う。

「議事(1) 各種調査結果の報告について」、事務局から説明をお願いする。

事務局 : ※資料1【計画策定に向けたスケジュール】に沿って説明

事務局 : 各種調査結果の報告については、委託業者から説明いただく。

日本工営 : ※資料2【各種調査結果の報告】のうち、「1. 県民アンケート調査」に沿って説明

三好会長 : ここまでの説明内容について質問等はあるか。

岡本公募委員：今回の調査対象はどのように選定したのか。

日本工営：WEBでの調査の対象者はRakutenとYahooの登録者のうち、県内在住で外出機会のある方に対して調査を実施した。

岡本公募委員：県のHPや新聞広告等での周知は実施していないのか。

日本工営：その通りである。

三好会長：最後に改めて質疑時間を設ける予定であるため、次の項目について説明いただく。

日本工営：※資料2【各種調査結果の報告】のうち、「2. 来県者アンケート調査」に沿って説明

三好会長：先程の県民アンケートと同様、民間のWEBリサーチ会社に登録している会員に対しての調査という理解でよいか。

日本工営：ご認識の通りである。

三好会長：ここまでの説明内容について質問等はあるか。

— 質問なし —

三好会長：質問がないようなので、次の項目について説明いただく。

日本工営：※資料2【各種調査結果の報告】のうち、「3. 高校事務局・高校生アンケート調査」に沿って説明

三好会長：ここまでの説明内容について質問等はあるか。

秋山公募委員：高校生の要望として、Wi-Fiや待合室が挙げられているのは、私が普段利用する中でも感じる場所である。

伊予小松駅など無人駅が増加する中、どのように治安や安全を確保するかが重要である。

私がパトロールを行う中でも、伊予小松駅で奇声を上げる不審者が現れたことがあり、その時間帯に利用されている方も不安がっていた。また、ホームが狭いために、女子高生が電車の入線時に白線を超えてしまい、運転手が不安を感じていたこともある。今後の高校再編を踏まえても、駅の安全面確保についての課題がある。

待合室については、費用面もあるが、できる範囲であったほうがよいと思う。一方、伊予小松駅を利用する、愛媛県立小松高校生の通学路にWi-Fiが利用可能なバスの待合室を併設しているコンビニがあり、高校生が立ち寄ることが多い。加えて、地域住民のパトロール活動を盛り上げる必要がある。

来県者アンケートに関連した意見として、特に田舎ではスマートフォンのアプリだけでは案内が不十分な状況がある。また、外国人にとって、例えば壬生川（にゅうがわ）駅の読み方は理解されづらい。住民が盛り上がり公共交通を支える組織があるとよい。

三好会長：次の項目について説明いただく。

日本工営：※資料2【各種調査結果の報告】のうち、「4. 県内市町公共交通担当者アンケート調査」、「5. 交通事業者アンケート調査」に沿って説明

三好会長：ここまで5つの調査結果についてご報告したが、全体を通してご意見等はあるか。

松村副会長：県民アンケート調査では、サブスク等についてのご意見を紹介いただいた。無料DAYは、とさでんや近江鉄道で取り組まれているが、近江鉄道では、沿線の複数市町で協議会を立ち上げ、鉄道の利用目的づくりとあわせて無料DAYを実施したことで、多くの利用者があったという結果が出ている。本県においても、予土線沿線で利用活性化協議会が盛んに活

動されているが、日程を合わせて取組と連携した無料 DAY を実施することで、電車に乗ってよかったと思っただけのような機会を作ることは大切ではないか。

来県者アンケート調査に関して、JR 松山駅の改修が目の前に迫る中、もう一度、愛媛県に来ていただく上で、JR 松山駅のポテンシャルは非常に高い。愛媛県内には松山城や道後温泉以外にも多くの魅力があるが、都会に居住する人にとって、そのような取組を知る機会がない。SNS での情報発信だけでは不足しており、JR 松山駅での情報提供施設を設け、祭りで使用しているものを展示するなど、もう一度来たいと思わせるような取組が重要と考えている。

高校事務局・高校生アンケート調査について、通学時の家族送迎（自家用車）が増加していることが極めて危機的である。高校付近に鉄道駅やバス停が存在するにもかかわらずこのような状況であるということは、高校生への情報提供が重要である。例えば、合格通知とあわせて公共交通に関する時刻表や路線図等の情報提供を送付いただくよう、県の教育委員会と連携して取り組むことなどが考えられる。

県内市町公共交通担当者アンケート調査に関して、各地で取組が進められていることは喜ばしいが、整合性が取れているかは確認が必要である。例えば、立地適正化計画で定めた拠点や軸が他市町と連続しているか、市町の地域公共交通計画と連動しているか、県として確認すべきである。

交通事業者アンケートについて、特に人材確保に向けた取組は重要である。昨日、坊っちゃん列車に関する会議が開催されたが、これも人材不足に起因するものである。例えば、西宮市では市報に路線バスの求人情報を掲載し、阪急バスで乗務員が採用できたという事例があった。市の資料に掲載することで、単なる民間企業の求人ではなく公共性を持ったものだと認識される。このような取組でも、多少は人材確保に貢献できると考えられる。

三好会長：貴重なコメントや、今後の施策に関するヒントをいただいた。他にご意見等はあるか。

秋山公募委員：日頃から公共交通を利用する方には、スマートフォンを利用できない方も多い。住民の声を拾う上で、パソコンが使える方は車を利用できる方が多い。WEB アンケートだけではなく、自治会等を通して盛り上がらないかという点は、できるかは別にして、そのような視点を持ち続けたい。

また、高校生の通学手段について、例えば列車に乗り遅れた方が登校を諦める場合もある。外国人への案内等をしていても、最後は人だという心の視点を持った計画になればよいと感じている。

三好会長：多くのサンプル数を得るために WEB での調査を実施したという点をご理解いただきたい。ご指摘の通り、高齢者の意見が十分得られていないという課題はあるが、本日も各市町担当者に参加いただいているため、地域の実情に応じたニーズを拾い上げた計画としていきたい。

ここで一旦休憩とする。

— 休憩 —

三好会長：それでは再開する。資料をご覧ください、改めてお気づきの点がある方もいらっしゃるかと思いますので、ご質問、ご意見のある方いらっしゃいましたら挙手をお願いします。

横手公募委員：利用者目線で考えた際、観光目的の方も県民に対しても、楽しく利用いただけるように

仕向けるという点で、ポイント制を導入してはどうかと考えていたところ、県内でもみきゃんアプリが導入された。私も家族に言われてアプリの存在を知ったところであり、利用によるメリットを周知していくことが重要ではないか。

また、高校生の通学手段については私も気になったところである。地球温暖化の観点からも、愛媛県はよくない方向に向かっているように思われるため、環境面からのアプローチとして、公共交通や自転車のほうがよいという県民性に持っていけるとよい。

三好会長 : 先生からもご意見があったように、公共交通利用の重要性を学生に周知することについては、今後、県教育委員会等を含めた検討課題と考えている。

みきゃんアプリについては、必ずしも民間だけで周知に取り組むものでもないと思われるが、伊予鉄道からコメント等はあるか。

伊予鉄道 : 鉄道やバス以外にも、街中の店舗等で使っていただけるよう、周知を広げたいと考えており、周知活動には注力している。

三好会長 : 空港・駅や店舗等、多くの場所で周知されていると感じている。初めて愛媛に来られる方には、このような便利なアプリがあるということをお集まりの関係者が協力してアピールできればよい。今後、他にもアプリ等の開発者は出てくると思われるが、どのように周知していくかは大事な視点だと感じた。

秋山公募委員 : 先日開催されたフォーラムで、大災害の発生時にインターネット環境や経済活動が止まってしまうという視点を持つことが重要だという呼びかけが実施されている。鉄道路線は海沿いに走っており、高速道路が標高の高い場所を走る中で、災害時に交通関係がどのように復興していくのか、というシミュレーションなど、整備のベクトルを決めていくことも必要と感じた。

三好会長 : 大規模災害時には、大量輸送が可能な鉄道を中心とした輸送が基本になると思われる。災害発生時の避難経路の確保においても、公共交通が軸となりつつ、県や市町でも防災部門との連携が出てくると思われるため、計画に反映できるものは反映するという視点を持っていきたい。

時間も限られているため、次の議事に移る。

3 愛媛県地域公共交通網形成計画の一部改正について

三好会長 : 議事2「課題を踏まえた次期計画での基本方針(案)について」、事務局から説明をお願いする。

事務局 : 引き続き、委託業者から説明いただく。

日本工営 : ※資料3【各種調査結果に基づく課題に対する基本方針及び計画目標(案)】、資料4【愛媛県地域公共交通計画目次構成案】に沿って説明

三好会長 : 資料4に記載されている、「実施事業」「計画の達成状況の評価」を充実させていくことが、本協議会での重要な事項だと考えている。ただいまの内容について質問等はあるか。

四国運輸局 : 県全体で共通の方向性を定めていくという上で、基本計画では非常に重要なものである。共創という観点は前の計画にはないものであり、交通事業者以外の方も含めて交通を支えていくという点を念頭に計画策定を進めていただきたい。

事務局 : 国の活性化再生法でも「リ・デザイン」という話があり、多様な主体というのが今後のキーワードになると思う。新たなサービスが普及する一方、市町によってはコミバスの維持すら困難という場合もある。地域ごとの細かい移動ニーズは市町で把握いただきつつ、従

来の広域交通は県で、域内交通は市町でという概念にとらわれずに取り組んでいきたい。
また、5つの基本目標は相互が関係しており、どれか1つでも欠けてはならないものだと感じている。本計画を機に、運行時間外のスクールバスの活用など、教育・医療・福祉などの多様な主体にも参画いただければと考えている。

四国運輸局：調査結果でサブスクリプションに関する意見があったが、月額3,000円という破格の数値であっても2~4割が利用しないと回答している現状は受け止める必要がある。

また、高校生アンケートの待合所やWi-Fiの整備要望については、票数も多い中でかなり意味のある数字だと感じた。

事務局：自家用車の利用が増えていることはショッキングに感じた。私の子育て経験からも、特に女子では往路は自転車で、復路は車に自転車を積んで送迎するという場合は多いと思われる。鉄道とバスの接続改善等は必要と感じている。

日本工営：サブスクリプションの回答については、ほとんど自家用車しか利用していない方も含めたものであり、従来公共交通を利用していない方からも収入が得られれば、月額3,000円であっても大きな額になると思われる。自家用車利用者及び公共交通利用者それぞれに絞った分析は今後検討してみたい。

松村副会長：計画目標に「共創」という言葉が書かれているが、指標にまで入れ込むかどうか、事務局の意気込みはどうか。

事務局：具体的なイメージはできていないが、各プレイヤーがどのような役割を果たしていくかという点は計画に記載できるとよい。

松村副会長：市町の計画には目標指標の設定が不可欠となっており、既に各市町で設定されているものと思われる。従来は、県は幹線・市町は支線という役割分担があったが、共創という考えを踏まえれば、各市町の目標を足し合わせて県の目標として設定することも考えられるのではないかと。難しいことは承知の上でコメントさせていただく。

三好会長：ただいまの協議でいただいたご意見を踏まえて、基本方針、計画目標の各案は適宜調整させていただくが、大きな構成としてはご理解をいただけたということでよい。

— 異議なし —

三好会長：事務局においては、本日の協議結果を踏まえて、基本方針・目標を受けた具体的な事業内容（案）の検討・作成を適切に進めるとともに、ご参画の各市町・事業者の皆様におかれども、実効性の高い計画となるよう積極的なご検討・ご提案をお願いします。

三好会長：それでは、本日の愛媛県地域公共交通網再編協議会の議事は以上で終了する。進行を事務局へお返しする。

事務局：以上で本日の愛媛県地域公共交通網再編協議会を閉会する。